

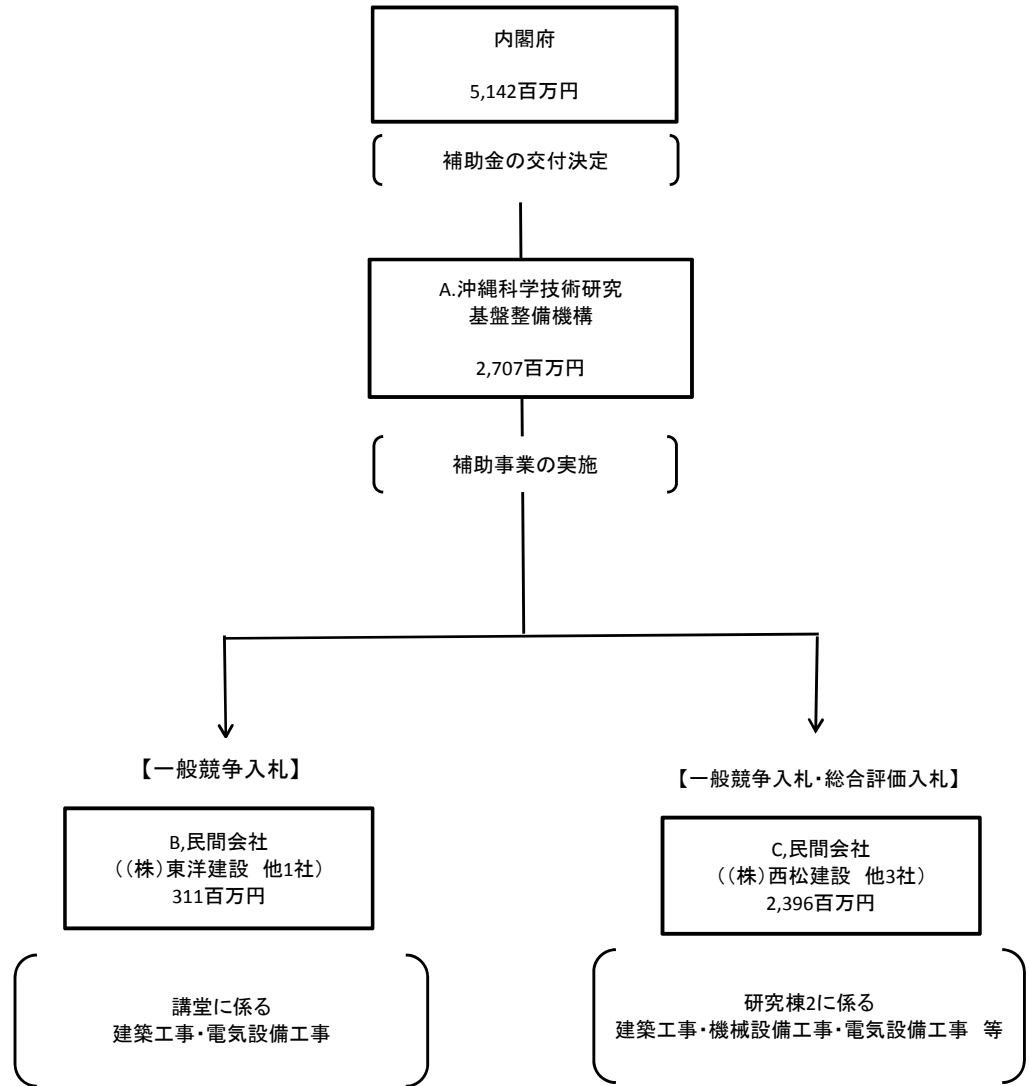
平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

<b>事業名</b>	独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構施設整備に必要な経費		<b>担当部局庁</b>	沖縄振興局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成17年度		<b>担当課室</b>	新大学院大学企画推進室		岩井 一郎		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	9. 沖縄政策の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	沖縄振興特別措置法 独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構法		<b>関係する計画、通知等</b>	沖縄振興計画				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	沖縄振興特別措置法第4条第1項に規定する沖縄振興計画に基づく同法第85条第2項に規定する大学院を置く大学の設置の準備と併せて、沖縄を拠点とする国際的に卓越した科学技術に関する研究及び開発等を推進することにより、沖縄における科学技術に関する研究開発の基盤の整備を図り、もって沖縄の自立的発展及び世界の科学技術の発展に寄与すること。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構の設置する施設(大学院大学恩納村キャンパスの研究棟等)の整備充実を図るため、機構が行う施設の整備に要する経費に対して補助を行う。 補助率:定額							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	6,286	5,511	5,142	1,402	3,070	
		繰越し等	8,656	0	0	0		
		計	-8,020	10,302	-2,273	0		
	執行額	6,922	15,813	2,869	1,402	3,070		
	執行率(%)	6,888	15,812	2,707			99.5%	100%
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	大学院大学の開学に向けた研究者採用の状況		成果実績	代表研究者等の数	19	22	29	50
			達成度	%	38	44	58	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	大学院大学の開学に向けたキャンパスの施設整備の実績		活動実績(当初見込み)	竣工した施設数(着工した施設数)	8(0)	2(0)	0(2)	—
								(2(1))
<b>単位当たりコスト</b>	大学院大学の開学に向けたキャンパスの施設整備 平成22年度当初予算:5,142百万円 平成23年度当初予算:1,402百万円		算出根拠					
<b>平成23・24年度 予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備費	1,402	3,070	第3研究棟の整備に必要な予算を要求しているため。				
	計	1,402	3,070					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備費補助金交付要綱に基づき、四半期ごとに遂行状況報告を受ける等、工事の進捗状況を把握している。また、一般競争入札の原則化等、効率的に事業を実施している。</p> <p>平成24年度秋の大学院大学開学に向け、教育研究基盤の整備を推進し世界最高水準の研究を行うことにより、沖縄の振興と自立的発展に資することから、引き続き事業を推進することが必要である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>機構側のガバナンスや内部統制が十分発揮できるような体制を整備すべき。</p> <p>事業の効率化を図るため、継続的なモニターが必要。また、引き続き適正な予算の執行となるよう機構を指導すべき。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>理事の下に事務局長を配置し、内部の事務管理を徹底するとともに、事務局長が外国人出身者の理事長及び理事を適切かつ強力に補佐すべき体制を整備した。</p> <p>引き続き、適正な予算の執行となるよう必要な指導、助言を行う。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	研究棟2関連	2,176			
工事費	講堂関連	311			
工事費	基幹・環境整備関連	220			
計		2,707	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
建築工事費	講堂新営建築工事	271			
計		271	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
建築工事費	研究棟2新営建築工事	911			
計		911	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東洋建設株式会社	講堂新営建築工事	271	入札参加:7社	92.6%
2	東光電気工事株式会社	講堂新営電気設備工事	40	入札参加:14社 (内辞退1社)	97.7%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	西松建設株式会社	研究棟2新営建築工事	911	入札参加:5社	66.0%
2	新菱冷熱工業株式会社	研究棟2新営機械設備工事	739	入札参加:4社	83.2%
3	東光電気工事株式会社	研究棟2新営電気設備工事	525	入札参加:4社	97.1%
4	宮地鐵工所・金秀鉄工JV	基幹・環境整備	220	入札参加:5社	66.0%
5					
6					
7					
8					
9					
10					